

生徒が培ってきた力を発揮 できる日本語学習の設計

「中間発表」を中心にした一連の表現活動

啓明学園中学校高等学校 国際学級 川上さくら

1. 実践の場の紹介、学習者のプロフィール
2. 抱えていた課題 と 解決のために参考にしたこと
3. 「中間発表」という一連の実践 と そこで大切にしたい考え方
4. 実践の成果
5. 今後の課題と展望

1. 実践の場の紹介、学習者のプロフィール

- 啓明学園 中学校 高等学校
- 1940年 帰国子女のための学校として創立
- 現在 全体のうち約3割の生徒が国際生(帰国子女、ダブル、外国籍、国内インター)
- 国際生のうち、80名程度が取り出し指導、うち20名程度がJSL日本語指導を受けている(国語/日本語、数学、理科、社会の取り出し指導がある)



1. 実践の場の紹介、学習者のプロフィール

2018 日本語コース 18名 (4月時点)

〈学年の内訳〉

中学1年 4名
中学2年 1名
中学3年 1名
高校1年 5名
高校2年 4名
高校3年 3名

〈言語の内訳〉

中国語 7名
スペイン語 1名
英語 9名
(タガログ語、
クメール語、
ヒンディー語、
ベトナム語、
ポーランド語)

〈来日の背景〉

国際結婚家庭(再婚含む) 14名、
外国籍 4名

編入時期はバラバラ

2. 抱えていた課題 と 解決のために参考にしたこと

特徴1

国際生は一般生と混入ホームルーム、
つまり、全クラスに国際生がいる。

特徴2

実技科目(美術、音楽、体育など)は
一般生も国際生も一緒に受ける



その結果、
クラス・学年などバラバラの状態
日本語の教室にやってくる

教員1対生徒1の授業もあれば、
教員1対生徒10人の授業も

中学1年と高校3年を同時に教えることも

2. 抱えていた課題 と 解決のために参考にしたこと

課題 個別学習 と 協働学習を 両立させるには？

- 従来の学習方法

 - 個別の自律的な学習

 - ・漢字(漢字練習、漢字検定)
 - ・語彙、文法(JLPTの取得)
 - ・文章の読解(日本語のやさしい文章、教科書の文章など)

→ 同じ空間で学ぶ仲間同士の関係性が深まらない
伝える相手のいる産出活動が絶対に必要！

2. 抱えていた課題 と 解決のために参考にしたこと

個別と協働を組み合わせるには？

イエナプラン教育
自立学習とワールドオリエンテーション(協働学習)

桜美林大学
自律学習と「中間発表」



『オランダの個別教育はなぜ成功したのか』
リヒテルズ直子

2019年10月12日(土)



『自律を目指すことばの学習ーさくら先生のチュートリアル』
桜美林大学日本語プログラム「グループさくら」



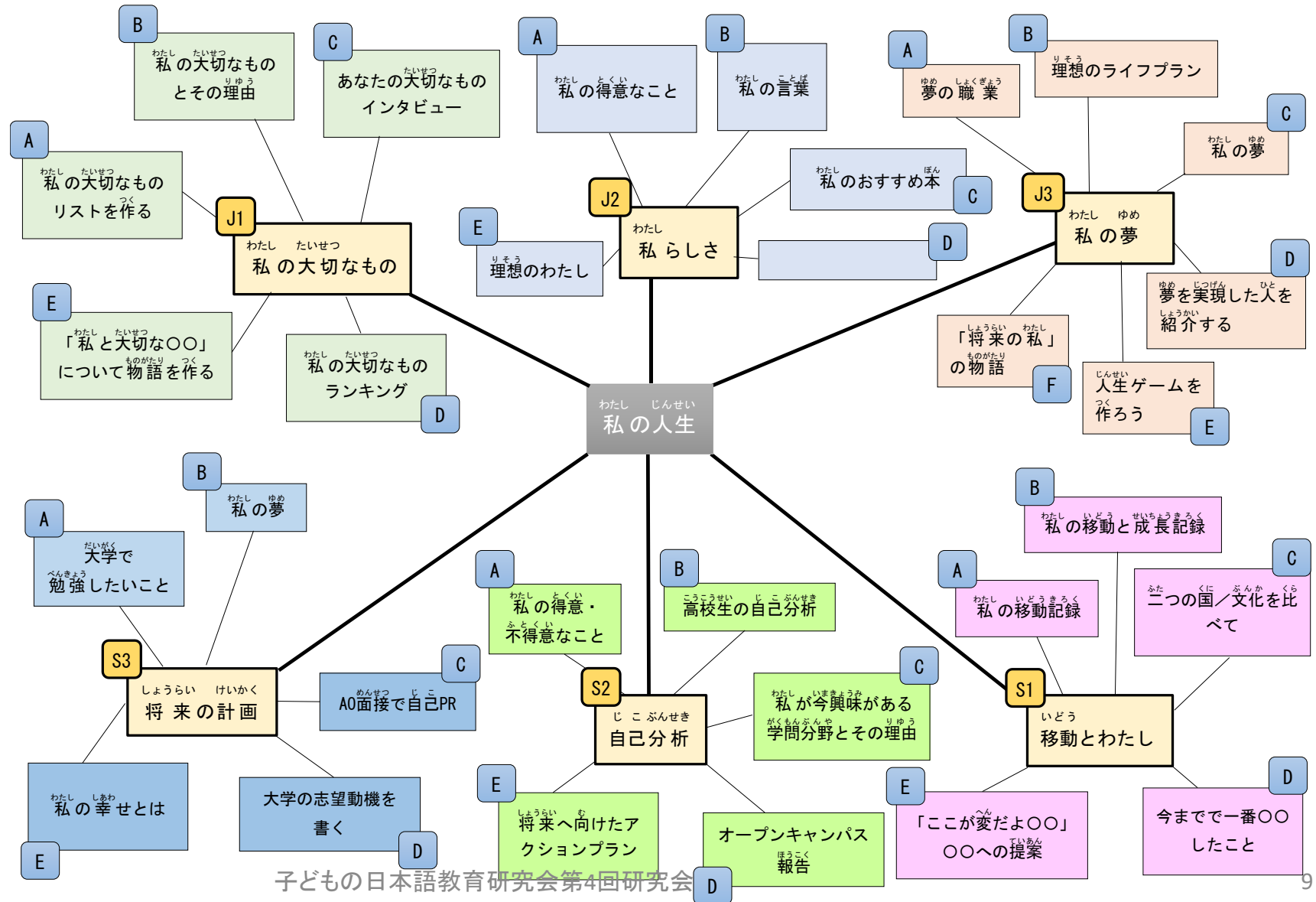
子どもの日本語教育研究会第4回研究会

3. 「中間発表」という一連の実践 と そこで大切にしたい考え方

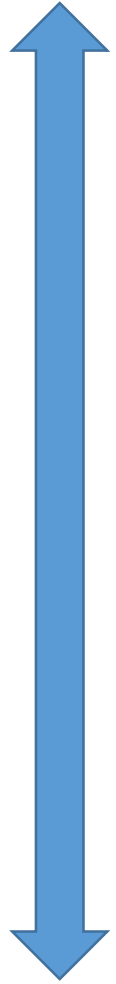
- 「好きなテーマ」について、みんなに発信する
→ 中間発表タスク表
「私の人生」→「コミュニケーション」→「人と社会」
- 発表方法も好きに考える→ マルティプル・インテリジェンス
ブルーム・タキノミー
- 「中間発表」の発表週間を設定（1週間の中に、好きな時間に発表）

3. 「中間発表」という一連の実践 と そこで大切にしたい考え方

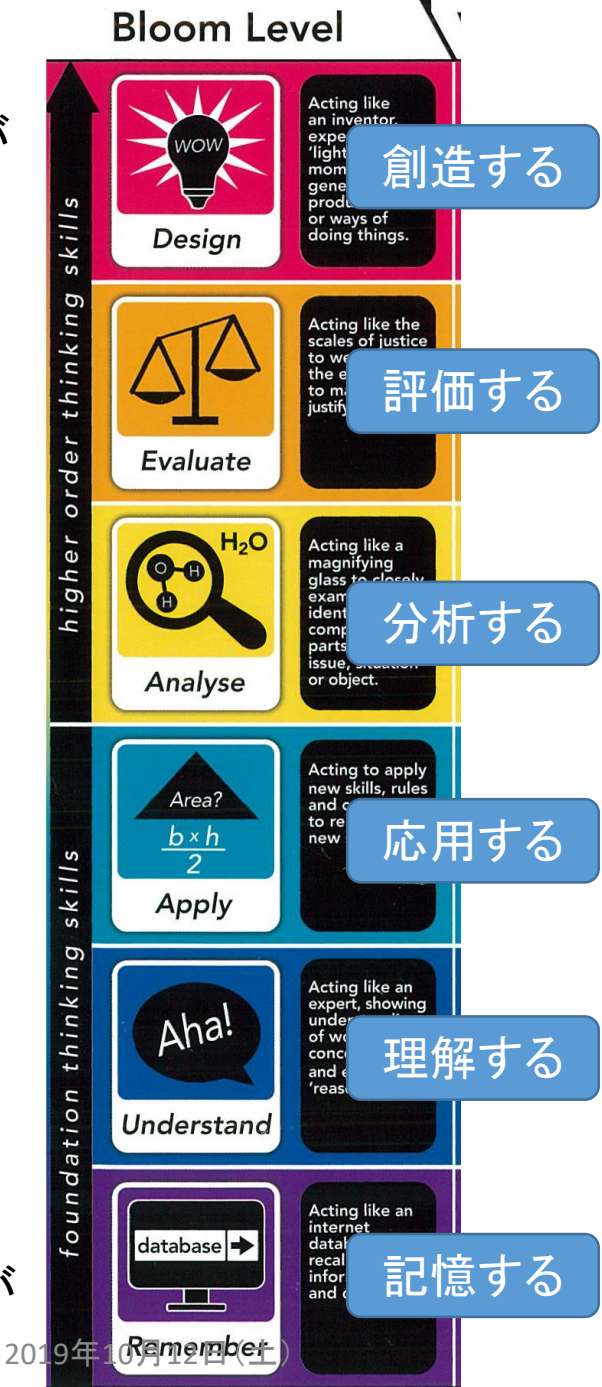
「中間発表 タスク表」 1学期



レベルが高い



レベルが低い



ブルーム・タキソノミー (教育目標の分類学/6段階思考力)

E

ランキングを作る、ガイドブックを作る、ゲームを作る

D

説明する、比べる、分類する、意見を言う

C

B

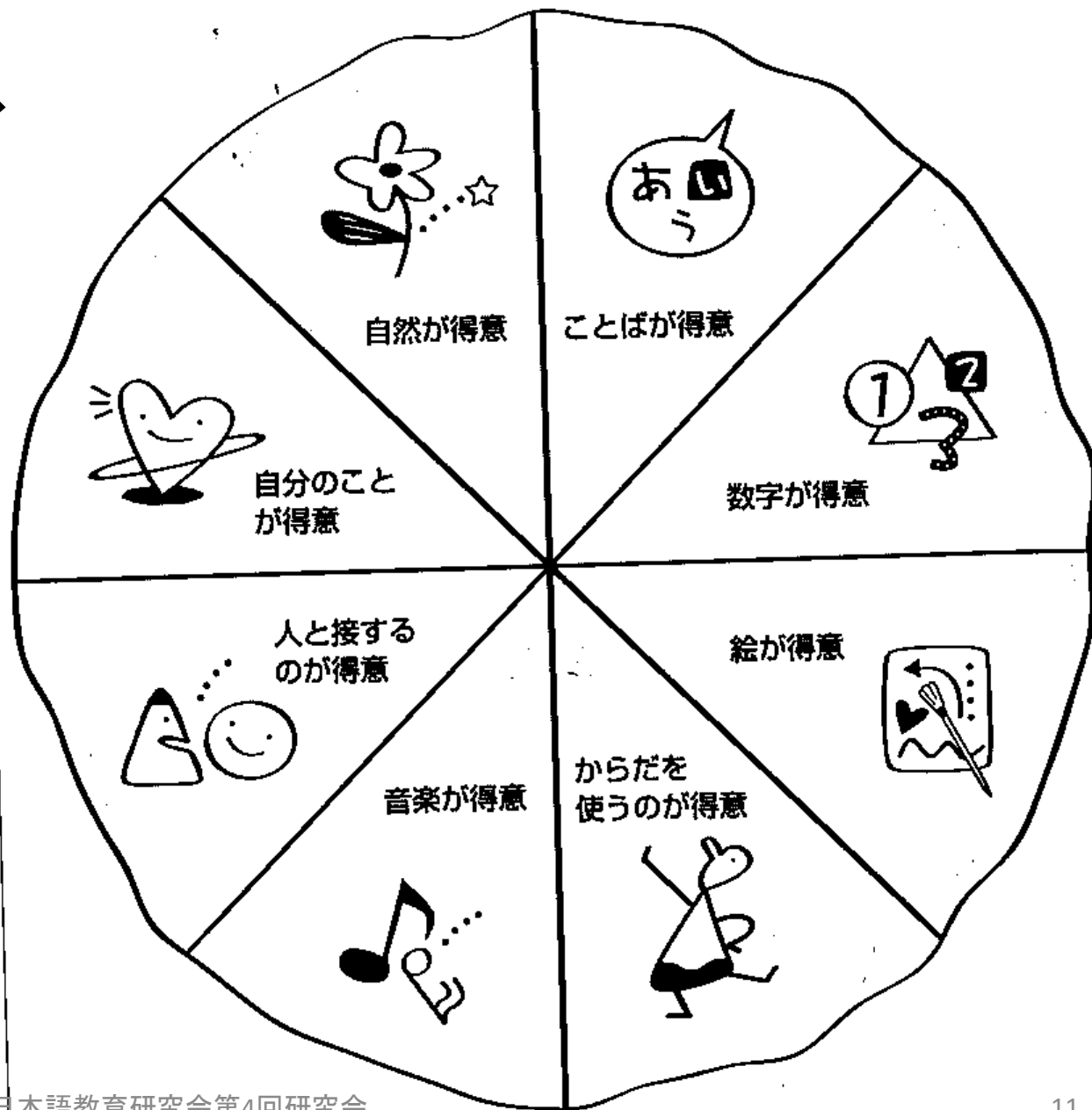
紹介する、リストアップする

A

マルチプル・インテリジェンス



『マルチ能力が育む子どもの生きる力』
トーマス・アームストロング、吉田新一郎訳



発表の準備 ガイドライン…準備の際は母語使用を推奨

※トランスランゲージングの考え方

発表の準備

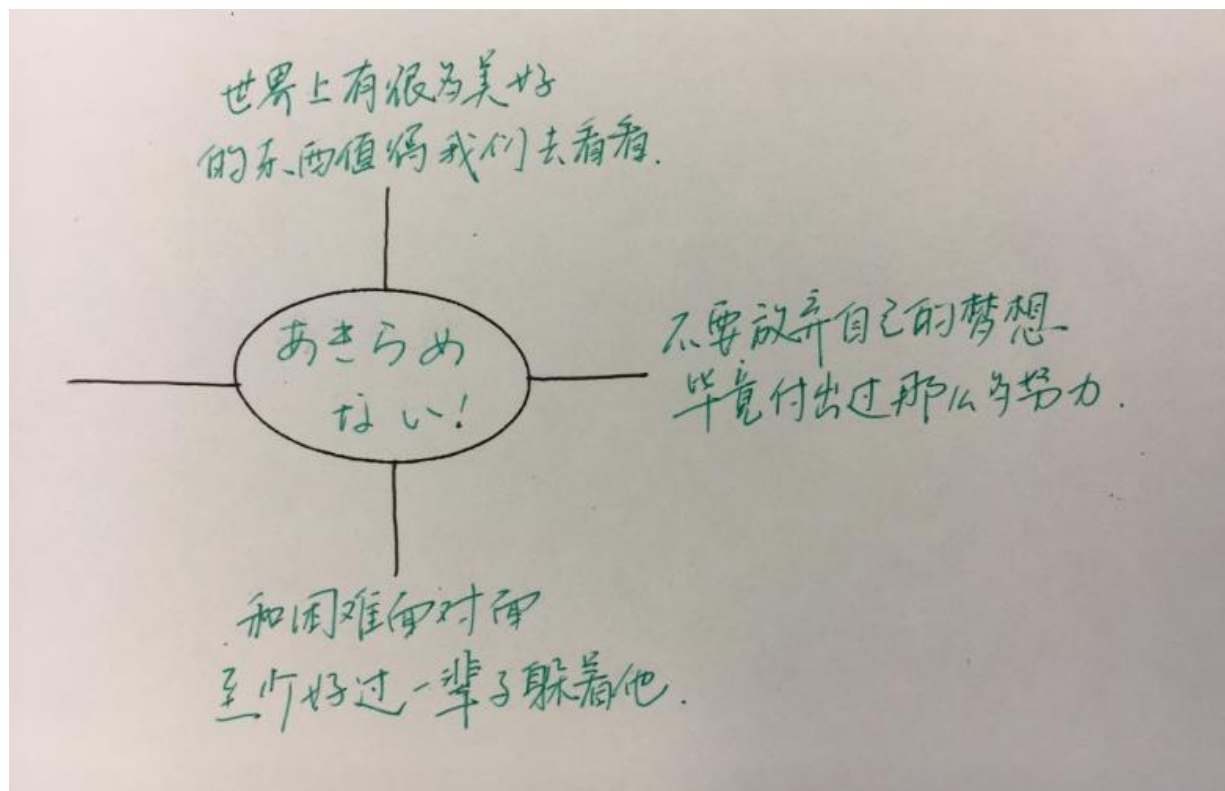
	日付	D	C	B	A
トピックを決める	/ ()	やりたいトピックを 決めることができなかった	時間はかかったが やりたいトピックを 決めることができた	まあまあすぐに やりたいトピックを 決めることができた	すぐに やりたいトピックを 決めることができた
アイデアを出す	/ ()	自分で アイデアを出すことが できなかった	自分で少し アイデアを出して 内容を考えることができた	まあまあたくさんの アイデアを出して おもしろい内容になった	たくさんの アイデアを出して 内容が充実していた
発表方法を選ぶ	/ ()	自分で 発表方法を選ぶことができな かった	まあまあ分かりやすい 発表方法を選ぶことができた	分かりやすい 発表方法を選ぶことができた	みんなに一番よく伝わる 発表方法を選ぶことができた
完成させる	/ ()	発表を 完成させることができなかった	発表を 時間に間に合わなかったが 完成させることができたよい	発表を 時間までに完成させることが できた	素晴らしい発表を 時間までに完成させることが できた

3. 「中間発表」という一連の実践 と そこで大切にしたい考え方

アイデアを出す(ブレインストーミング)

まずは母語で考えさせる

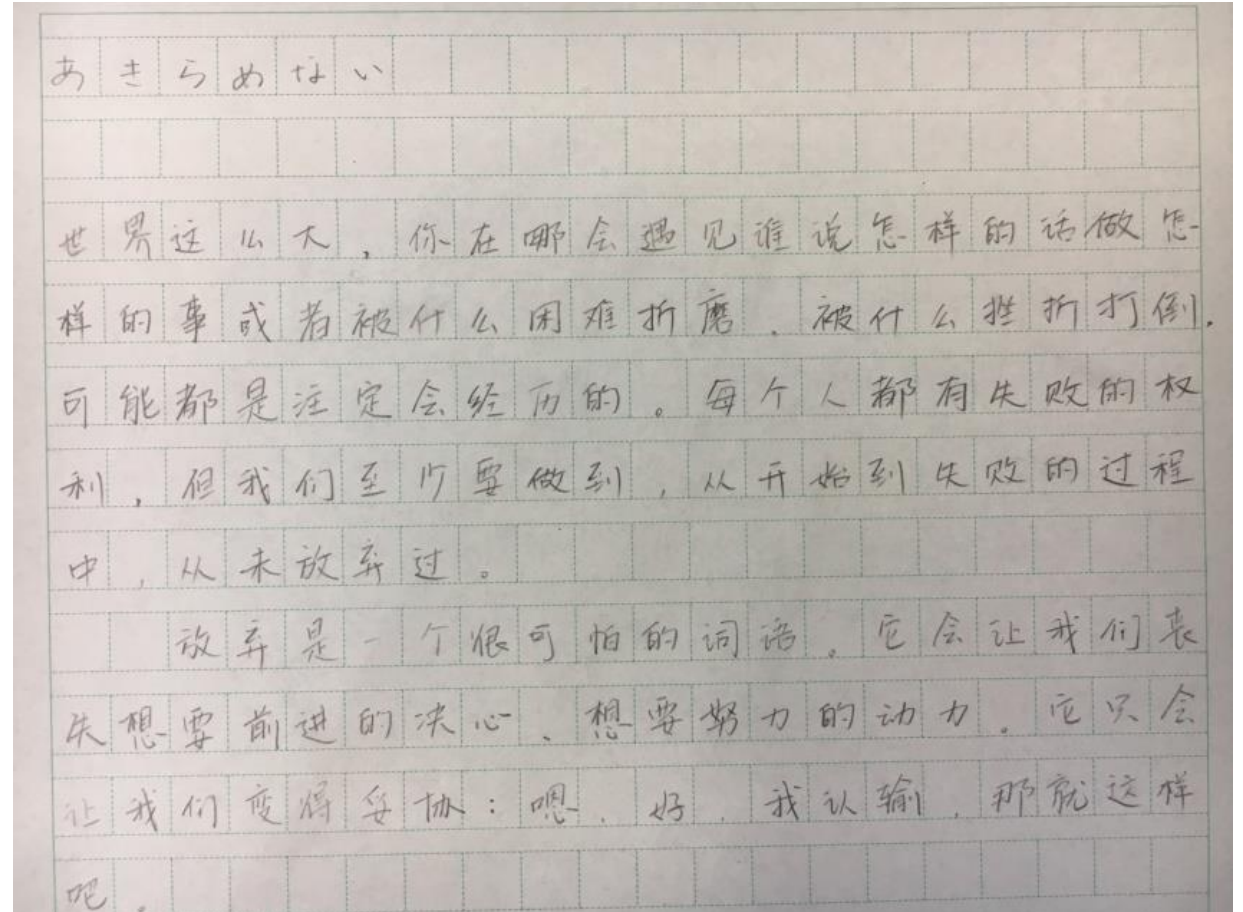
マッピング



3. 「中間発表」という一連の実践 と そこで大切にしたい考え方

母語で
発表の第1稿を書く

日本語で書ける
場合は日本語で



3. 「中間発表」という一連の実践 と そこで大切にしたい考え方

母語を日本語へ

日本語ができる友だちに 手伝ってもらおう

中国語ができる同級生



3. 「中間発表」という一連の実践 と そこで大切にしたい考え方

Google翻訳を活用

翻訳

リアルタイム翻訳を無効にする

日本語 スペイン語 中国語 言語を検出する

スペイン語 日本語 中国語(簡体)

翻訳

世界如此广阔

世界はとても広大です

6/5000

☆ 📄 🔊 ↶

情報の修正を提案

Sekai wa totemo kōdaidesu

生徒

教員

3. 「中間発表」という一連の実践 と そこで大切にしたい考え方

生徒の発表例

1学期 私の人生

中1

- 私の大切なもの(家族、ペット、ハリーポッターの本、中国語の本)

中3

- 私の夢ー私が会いたい動物

高1

- 私の成長記録/移動の記録
- 中国の学校と日本の学校
- 日本の学校とカンボジアの学校

高3

- バスケット
- 自己紹介(移動の記録)

3. 「中間発表」という一連の実践 と そこで大切にしたい考え方

生徒の発表例

2学期 コミュニケーション

中1

- 理想の友だち
- 良い友だち、悪い友だち
- 友だちすごろく

中2

- サッカーの仕事

高1

- カルチャーショック
- いろいろな国での

ダンス・エデュケーション

高2

- 友情 → 外部のスピーチコンテスト出場

高3

- 啓明学園での生活(フォトブック)

3. 「中間発表」という一連の実践 と そこで大切にしたい考え方

生徒の発表例

3学期 人と社会

中1

- 創作物語

中2

- 気になる環境問題
ー海洋プラスチックゴミ

中3

- 児童労働の問題

高1

- なぜ子どもは学校にいかなければなら
ないのか
- 理想の大学

高2

- 和食について
- 藍染めージャパン・ブルー

3. 「中間発表」という一連の実践 と そこで大切にしたい考え方

中間発表 当日

- 中間発表をする週を決め、予めどのコマで発表をしたいか宣言
- 場合によっては、担任の先生などを招待する
- 当日は生徒が司会進行をし、生徒同士で質問をし合う

司会原稿

ひとこと かんそう い
〈一言、感想を言います〉

_____ について教おしえてくれて ありがとうございます。

_____ がとてもよかったです。

_____ はおもしろそうですね。

_____ と聞きいてびっくりしましたね。

_____ さん・くんなに しつもんに何か質問はありませんか。

3. 「中間発表」という一連の実践 と そこで大切にしたい考え方

中間発表 後

- 発表原稿を提出→ 教員が日本語のチェックをする
- 修正した最終原稿を
原稿用紙に清書/PCでタイプ/音声録音で提出
- 定期テストの最後の問題(事前に予告する)
「中間発表の内容を作文に書きなさい」

4. 実践の成果

- 来日前の仲間について知ることができる

(写真、エピソードなど)生徒同士の関係性を深める意味でも有効

- 発表を完成させるという達成感

普段は日本語力が低く、静かな生徒であっても、
事前に準備することができるので、力を発揮しやすい

日本語力以外の能力(PPTをうまく作ることができる、
絵が上手、想像力があるなど)を発揮することができる

4. 実践の成果

- たとえ最初はグーグル翻訳に頼っていたとしても、中間発表、原稿作成、清書を書く／パソコンで打つ、試験の時に再度作文を再現させる、などの繰り返しの中で、徐々に自分なりの表現力を獲得していく。
- 生徒同士がテーマを巡って日本語でコミュニケーションをする機会になっている
- 上手な生徒がロールモデルとなり、刺激を受ける。

特に高学年の発表を低学年の生徒たちは見ることになり、自分たちの発表の参考になる

- 自分でテーマを決めるため、割と熱心に取り組む
- 最終的な発表に行きつけなくても、目立たない。

5. 今後の課題と展望

- 個別学習/自律学習との関連性は？
中間発表で、苦手とする表現（例えば、授受表現、受け身など）を自律学習の中でフォローできるような流れを作りたい
- 自己評価、ポートフォリオ評価をしたい
- 国語（帰国）コースの生徒たちとの協働
- 高2 火曜5限 11人「エクспレッション・スキルズ」、月曜1人、金曜1人
2019年9月よりEdmodoのヴァーチャルクラスを設定、ここで発表の共有？
※Edmodoは教育用SNS
- 非常勤の先生との協働

参考文献

- リヒテルズ直子、『オランダの個別教育はなぜ成功したのか』、2006、平凡社
- 桜美林大学日本語プログラム「グループさくら」、『自律を目指すことばの学習ーさくら先生のチュートリアル』、2007、凡人社
- トーマス・アームストロング、吉田新一郎訳、『マルチ能力が育む子どもの生きる力』、2002、小学館
- 加納なおみ、「トランス・ランゲージングを考える：多言語使用の実態に根ざした教授法ほ確立のために」『母語・継承語・バイリンガル教育(MHB)研究. 12』、pp.1-22、2016